

平成29年度 第4回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成30年1月17日(水) 10:00~11:00
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、吉永郁生委員、齊藤明紀委員、田中仁成委員、中島廣光委員、山本仁志委員
[10名/15名]
- 欠席者 江崎信芳委員、尾室高志委員、片木威委員、角紀代恵委員、北崎寛委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 公立大学法人公立鳥取環境大学に置く職及びその選考に関する規程の一部改正について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学に置く職及びその選考に関する規程の一部改正について説明があり、原案のとおり承認された。

(2) 公立鳥取環境大学学事顧問に関する規程(案)の制定について

事務局から、公立鳥取環境大学学事顧問に関する規程(案)の制定について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・学事顧問の定数はあるのか。何人を想定しているのか。
→ 定数はない。学長が置くことができるとあり、学長が置かないと判断すれば、学事顧問がないことも考えられる。少人数を想定している。

(3) 公立大学法人公立鳥取環境大学第2期中期計画について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学第2期中期計画について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・地元就職30%というのはとてつもなく高い目標だなど、地元の企業の立場の者としても思う。入学者の25%以上を県内に留まらせるため、地元の企業・経済団体に連携を求めるというのはわかる。農林水産業にも連携を深めれば、違った定着が広がるかもしれない。
- ・ポートフォリオは具体的に考えているものはあるのか。
→ これから、検討するところである。紙ではなく、電子的メディアでやりたいと考えている。
- ・ハラスメントのところで、人権委員会を組織するとあるが、今はないのか。
→ ハラスメントが発生時の対応システムは既にあり、機能している。引き続き取り組むと考えて、中期目標に記載している。

- ・社会全体の中で、働き方改革が言われている。公立高校では、部活とかの時間外勤務を縮減していかななくては行けないが、公立鳥取環境大学では働き方についての課題はないのか。
→ 教員数を充足させるなど、教員の負担縮減を考えている。

3 協議事項

(1) 平成30年度当初予算について

事務局から、平成30年度当初予算案の概要について説明があった。原案の方向で進めることについて了承された。

<主な意見等>

- ・ラーニングコモンズは新たに作るのか。どんなものを考えているのか。
→ これから作るもの。どんなものにするかについても、これから検討する。

4 報告事項

(1) 平成29年度補正予算について

事務局から、平成29年度補正予算について報告があった。

(2) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について報告があった。

(3) 公立大学法人公立鳥取環境大学役員報酬等の一部改正について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学役員報酬等の一部改正について報告があった。

(4) 近況報告

事務局から、入試、就職活動など大学の近況について報告があった。

5 その他

(1) 地方独立行政法人法改正に伴う定款等本学規程の改正について

事務局から、地方独立行政法人法改正に伴い、定款等本学規程の改正が必要になる旨の説明があった。

(2) 2018（平成30）年度組織体制案について

事務局から、2018（平成30）年度に見直しを検討している組織体制の方針等の説明があった。

<主な意見等>

- ・入試については入試広報課がするのだと思うが、大学の活動情報も入試広報課がするのか。学内の活動を把握しないと広報できないと思うが大丈夫か。
→ 高校生にPRするためには、学内のことを十分知らないといけない。現在も、しっかりと学内の状況を把握して広報しているところであり、問題ない。

6 閉会